APSIPA 2012での海外論文発表

目で見る
海外論文発表

杉　浦　陽　介*

Report from '12 APSIPA Annual Summit & Conference

Key Words：a Comb Filter, Noise Reduction,
Adaptive Notch Gain

＜参加会議名＞ The 2012 APSIPA Annual Summit and Conference
＜開催場所＞ Hollywood、the USA
＜渡航期間＞12月3日～8日
＜発表タイトル＞A Comb Filter with Adaptive Notch Gain for Periodic Noise Reduction

この度、アメリカ合衆国、ハリウッドで開催されたAPSIPA 2012に参加しました。APSIPAはアジア太平洋地域を中心として信号処理研究者が数多く集まり、毎年300件以上の発表が行われる会議です。この会議において、私は音声などの調波信号の解析に向けてくし型フィルタの設計自由度を向上させる手法について発表しました。そこでは、理論に関する指摘や、実用面における問題提起など、多くの有益な意見をいただきました。また、世界各国での研究事情を知るとともに、研究者の方々の高い研究意識と積極性に刺激され、今後の研究活動への励みとなりました。他にも、発表を通じて台湾や中国の方ともお知り合いになり、有意義な意見交換を行うことができました。このような貴重な経験をさせていただき、海外論文発表奨励賞をいただいたことに感謝いたします。今後も世界で活躍する研究者になれるよう、精進したいと思います。

*Yosuke SUGIURA
1986年7月生
現在、大阪大学大学院　基礎工学研究科　システム創成専攻システム科学領域　飯國研究室　博士後期課程2年

写真1：学会での発表の様子

写真2：多くの人で賑わう会場

写真3：Welcome Receptionでの交流